

# うみ歌でつなぐ未来

～うみ歌に込められたふるさと愛～



本プロジェクトは、次世代へ海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる日本財団「海と日本プロジェクト」の一環です。

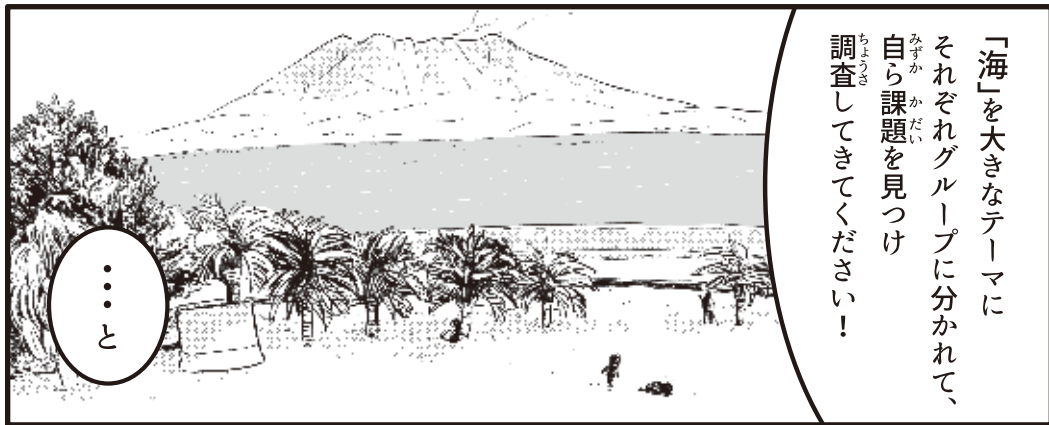


一般社団法人 GO UP KAGOSHIMA



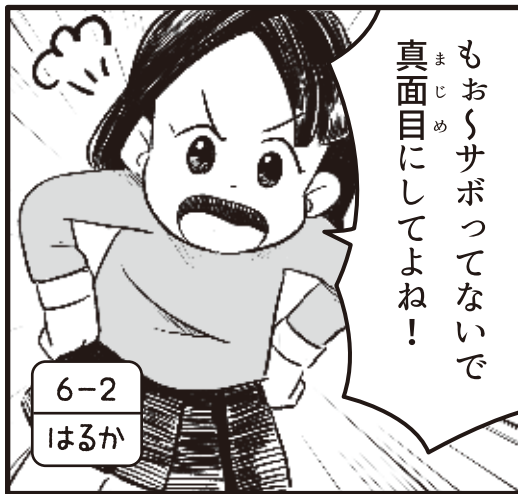
錦江湾をはじめ  
四方を豊かな海に囲まれた  
鹿児島にピッタリのテーマ  
ですね!

今回の総合的な  
学習の時間のテーマは  
「海」です



...

「海」を大きなテーマに  
それぞれグループに分かれて、  
自ら課題を見つけ  
調査してきてください!



もおろサボってないで  
真面目にしてよね!

6-2  
はるか



言われてもねえ  
何から始めたら  
いいのやら...

6-2  
ゆうた

登場人物紹介



はるか

同級生二人の心に火を点ける  
研究熱心な女の子



ゆうた

小学6年生。一見、目立ちたがりの  
活発な男の子



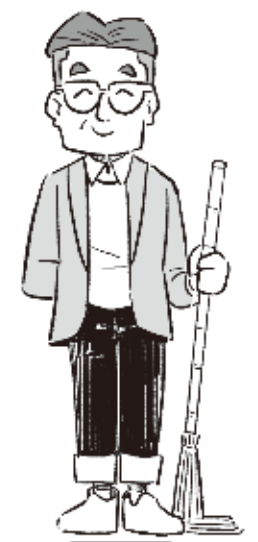
けんすけ

物静かで地理や歴史に  
興味が深い男の子



先生

子どもたちの成長に一喜一憂  
している感激屋



シゲさん

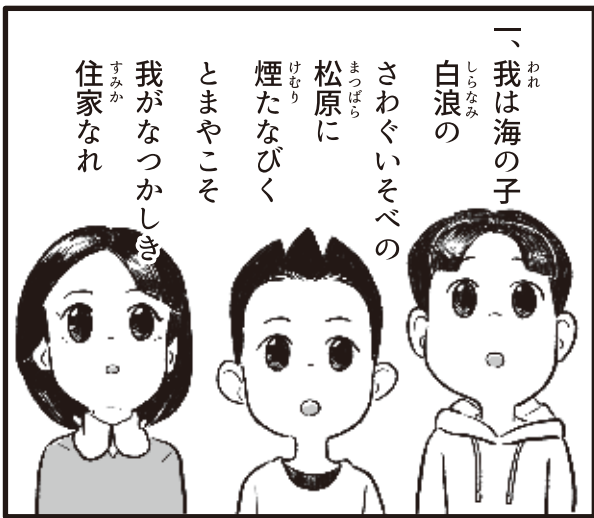
鹿児島の歴史に詳しく  
いつも公園を掃除しているおじさん



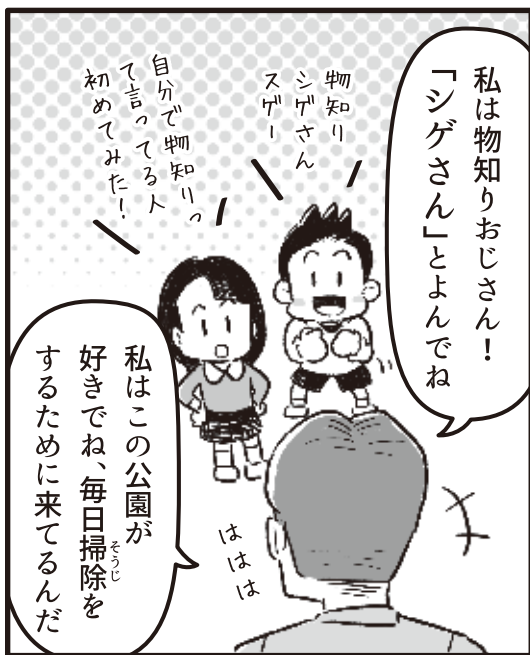
学校の教科書にのってるよね

なんでこんな所に？

え！  
これ有名な歌じゃん！



「われは海の子  
白浪の  
さわぐいそべの  
松原に  
煙たなびく  
とまよこそ  
我がなつかしき  
住家なれ  
すみか



私は物知りおじさん！  
「シゲさん」とよんでね  
物知り  
シゲさん  
スゲー！  
自分で物知りの  
て言ってる人  
初めてみた！  
私はこの公園が  
好きでね、毎日掃除を  
するために来てるんだ  
ははは



この  
歌詞を作った人は  
鹿兒島の人なんだよ  
ちなみに  
かみひ  
歌碑と  
いいます

え！  
そうなの！  
て、  
おじさん誰？  
物知りおじさん  
シゲさん



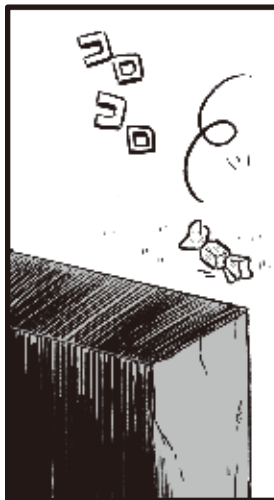
本当だ！  
ここに  
書いてある！



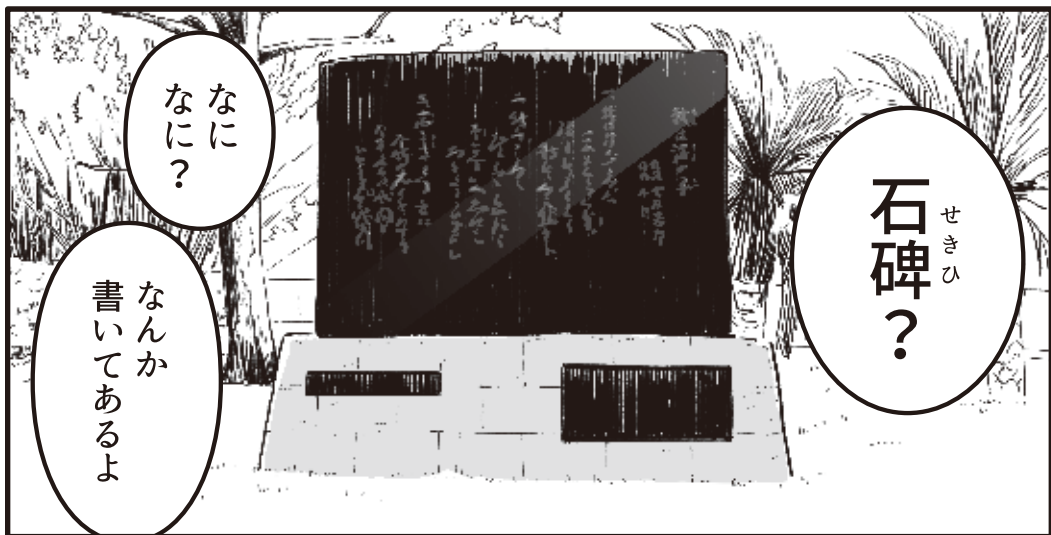
アイツはお菓子を  
食べてるだけだぜ  
は!?



ちよつとは  
けんすけさん  
を見習ったら



カラー  
けんすけさん！  
何してんのよ！  
わっ  
6-2  
けんすけ



なに  
なに？  
なんか  
書いてあるよ  
せきひ  
石碑？

なにになに？

「我は海の子の由来」

文部省唱歌「我は海の子」の作詞者  
宮原晃一郎は、明治十五年、鹿児島市  
加治屋町に薩摩藩士の子として誕生した。  
十歳の時父の転勤で北海道に移住したが  
長じて小樽新聞社の記者であった明治四十一年  
幼い日々日のかよった故郷の海(錦江湾)  
の天保山漁岸をしのんで作詞した「海の子」が  
文部省新体詩懸賞募集に応募して  
佳作入選した

宮原晃一郎さん？

鹿兒島市加治屋町に

薩摩藩士の子として

誕生した

十歳の時、父の転勤で

北海道に移住したが

長じて小樽新聞者の

記者であった……

「我は海の子」歌碑

そう！  
宮原さんが北海道で  
新聞記者をしていた時、  
文部省の新体詩懸賞という  
懸賞に応募し  
佳作当選した詩が  
のちにこの歌になった  
みたいだよ



※この頃の歌は作者不詳で発表  
するものが多数あり諸説ある。


この歌碑には3番まで  
しかないけど実は  
7番まであるんだよ

え！  
そうなんです  
知らなかった

でも何で加治屋町で  
生まれたのここに  
歌碑があるんだろう

？  
何でって  
なんで？

だって普通こういう碑っていうのは  
出身地に建てそうなものじゃない？  
加治屋町からここは結構離れているよ




なるほど…  
たしかに

おおく君は良いところに  
気がついたね！  
素晴らしい観察眼だ！

かんさつがん

加治屋町にあるべき歌碑が  
なぜここにあるのか？  
それは「われは海の子」が  
海にまつわる歌だからだよ




海にまつわる歌碑はやっぱり  
海の見える所に置きたいよね？  
それはそうだ！

しかし  
宮原さんの住んでいた  
加治屋町周辺は海から  
離れているでしょう？  
あ！  
確かに！

昔は加治屋町も  
海と近かったんだ  
天保山町、与次郎ヶ浜、  
鹿児島県庁のある  
鴨池新町あたりまで  
もともと海だったんだよ

ええ、  
そうなんだ！




あれ？  
なんでだろう？

実は今の国道225号線の  
海側(桜島側)はもともと海で  
あり、江戸時代から始まった  
埋め立て事業で風景がガラリと  
変わってしまったんだよ。

現在で海と桜島が一緒に  
美しく見えるところは  
どこか？  
と探した結果、  
この場所に  
落ち着いたんだよ

なるほど





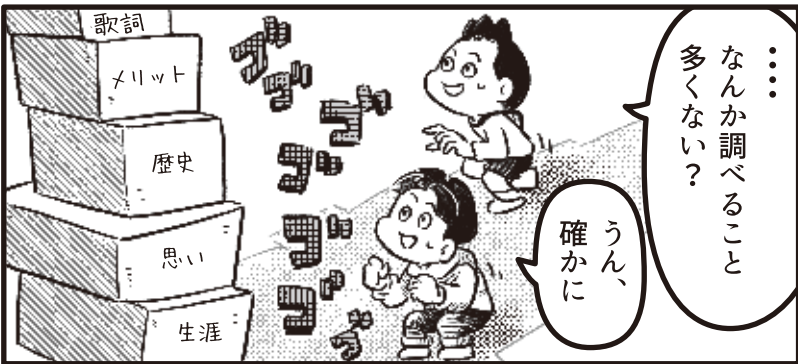
郷土鹿兒島の  
歴史の移り変わりや  
海や自然が人々に  
もたらすメリットは？

故郷こきょうに寄せていた  
思いは？



うん

宮原みやはらさんは一体どういった  
生涯しやうがいだったのか、とか？



…  
なんか調べること  
多くない？

うん、  
確かに



すごい  
やる気！

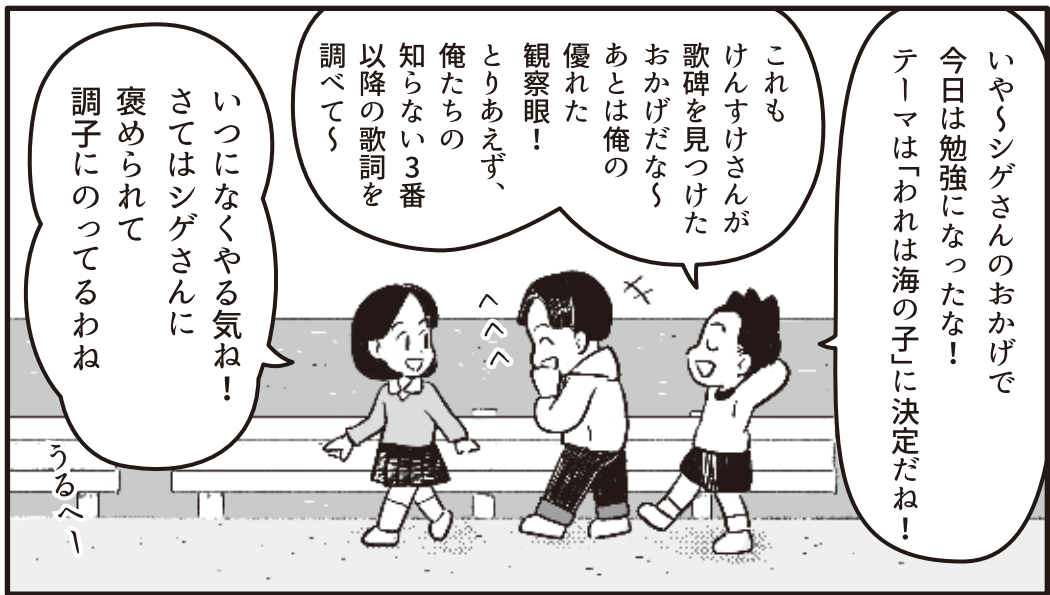
彼女は昔から  
逆境ぎゃくけいに燃える  
タイプなのよ！

ふふ



泣なみこよかひつ飛とべ！

私わたしにできないことはない！  
高い壁かべこそ飛び甲斐がいがあるつものよ



いや〜シゲさんのおかげで  
今日は勉強べんきやうになったな！  
テーマは「われは海の子」に決定だね！

これも  
けんすけさんが  
歌碑かひを見つけた  
おかげだな〜  
あとは俺の  
優れた  
観察眼くわんさつがん！  
とりあえず、  
俺たちの  
知らない3番  
以降いごの歌詞を  
調べて〜

いつになくやる気ね！  
さてはシゲさんに  
褒められて  
調子ていしにのってるわね

うるへ〜



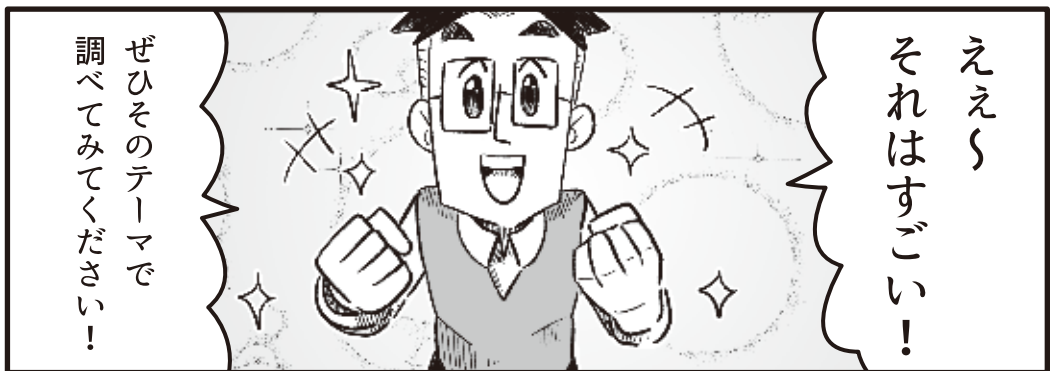
本当ほんとうびっくりだよね  
急にみぢか身近みぢかに感じちゃう

先生せんせいも知らないんじゃない？



近所きんじやうじゃん

でもまさか、  
あんな有名な歌の作者が  
鹿兒島出身だなんてなく  
しかも加治屋町かぢやまちって



ええ〜  
それはすごい！

ぜひそのテーマで  
調べてみてください！

1882(明治15)年、  
鹿児島市加治屋町の  
旧薩摩藩士の子として誕生。

次は宮原さんの  
生涯を調べてみよう!

10才の頃、  
父親の転勤で  
北海道・札幌に移住

新聞記者となり  
1908(明治41)年  
文部省の新体詩懸賞に  
「海の子」と題する  
詩を投稿。

英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、  
デンマーク語、ノルウェー語、スウェーデン語、  
ロシア語を独学で修得し、  
多くの作品の翻訳を担当  
童話集『龍宮の犬』『悪魔の尾』などを出版

え!すごい!  
日本語入れたら  
9か国語!!

かっこいい〜  
私もがんばろう!!

加治屋町!  
近所だ!

41年  
ということは、  
41-15=26!  
26才の時に  
書いたんだ〜  
僕らのお父さん  
お母さんより  
ずっと若いや

## われは海の子

一番  
我は海の子白浪の  
さわぐいそべの松原に  
煙たなびくとまやこそ  
我がなつかしき住家なれ

まずは  
歌詞について  
調べるわよ!



とまや 苦屋  
とまよ 苦葺きの粗末な小屋や小家屋のこと。苦はスゲやチガヤなどで 編んで作った筵のことで、小屋の屋根や舟の覆いに用いる。

三番  
高く鼻つくいその香に  
不斷の花のかをりあり  
なぎさの松に吹く風を  
いみじき樂と我は聞く

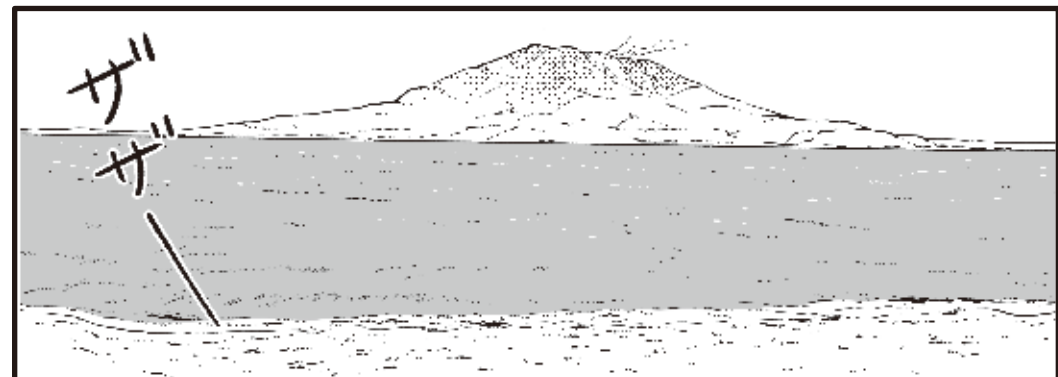
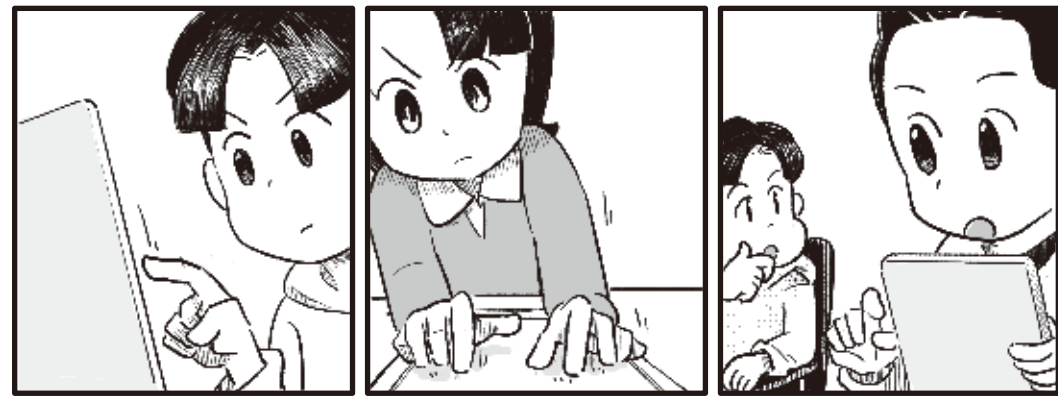
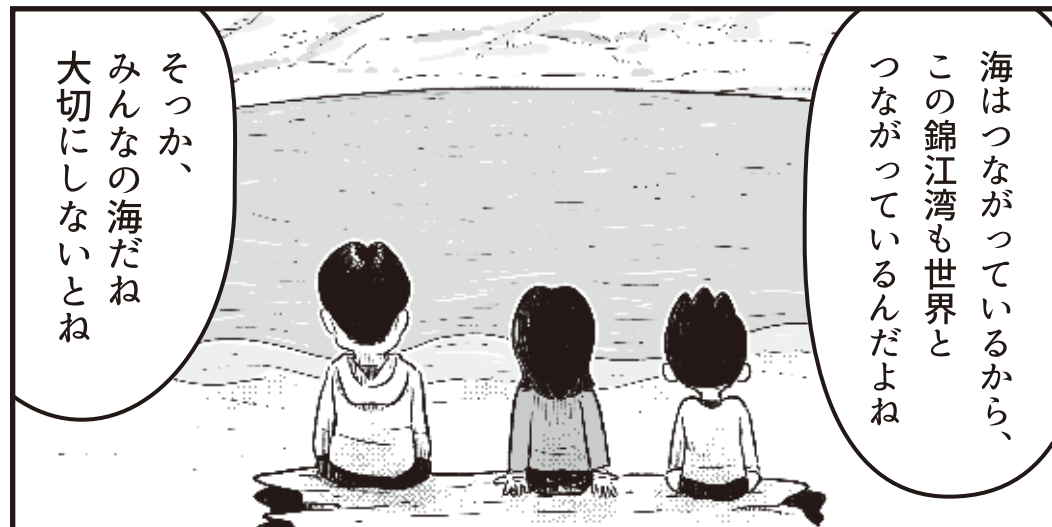
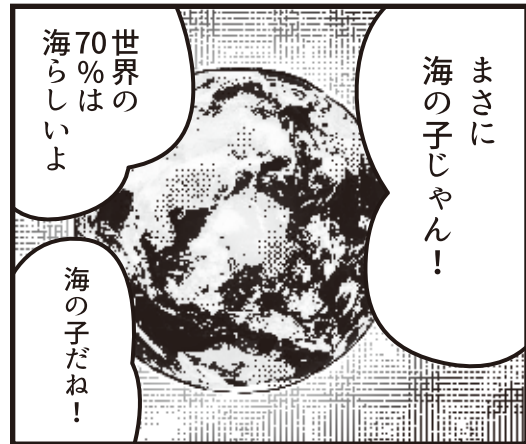
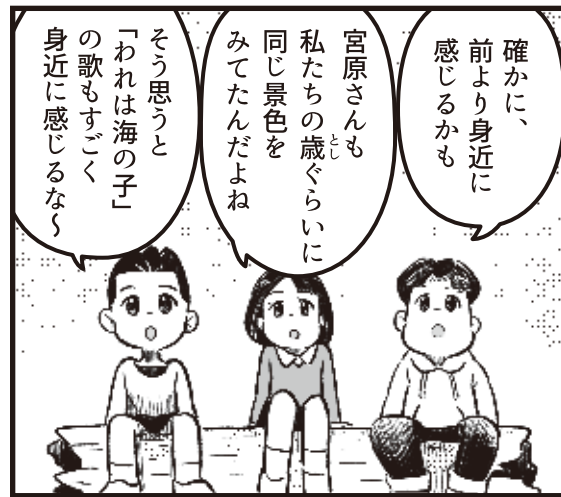
二番  
生まれてしほに浴して  
浪を子守の歌と聞き  
千里寄せる海の氣を  
吸ひてわらべとなりにけり

不斷の花  
ほぼ一年中花をつけているサトザクラの一種「不斷桜」。

いみじき樂  
素晴らしい音楽



※興味があったら4番以降は自分達で調べてみてね!



うみ、  
松原遠くの海、  
浜辺の歌、



発表当日

椰子の実、  
浜千鳥、そして

われは海の子

これらが  
共通するものは  
なんでしょうか

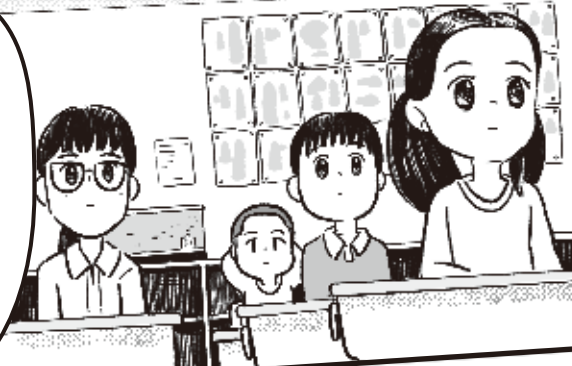
この問題は決して対岸の火事にしてはいけません  
海はつながっているからです  
私たちの問題なのです

まずは「知る」ところから  
はじめましょう

知って初めて何か出来るようなことを  
考えて実践してみましよう  
少しずつからでも大丈夫です

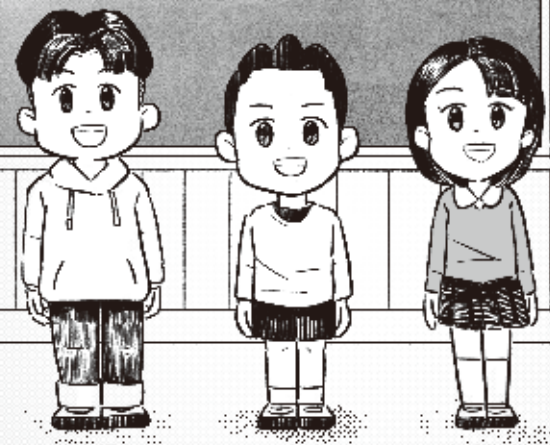
海を想うということは  
自分を想うということですよ

それは全て「海」の歌です  
海にまつわる歌は  
この他にもたくさん  
あります



それほど人々は  
「海」を身近に大切に  
想ってきました

なぜなら私たちは、  
われは海の子



なのだから

さらに  
豊かな海に囲まれている  
私たち  
鹿児島島の人々にとっては



沢山の海の恩恵を  
受けています

今、世界の海では  
様々な問題が  
おこっています。  
有毒の排水を流し  
多くの健康被害を  
生んだ事件や



タンカーから油が  
漏れて海鳥に被害が  
出たり、  
プラスチックごみが  
原因で魚が減少したり  
しています

以上で発表を  
終わります  
ご清聴ありがとうございました



ブラボー!!!





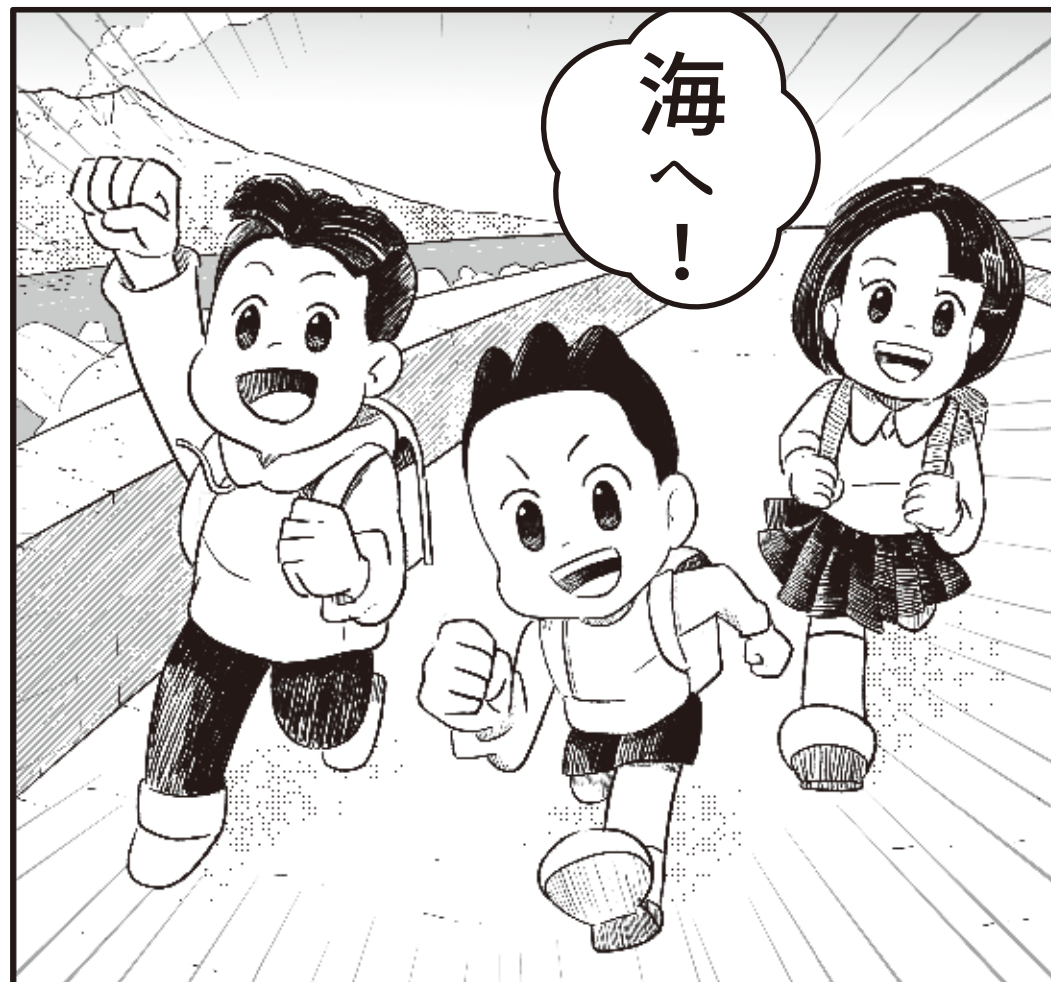
## うたい継ごう！うみ歌プロジェクトとは？

「うみ歌プロジェクト」では日本中に残された「海にまつわる歌」に込められた先人たちの価値観や美徳を探求します。

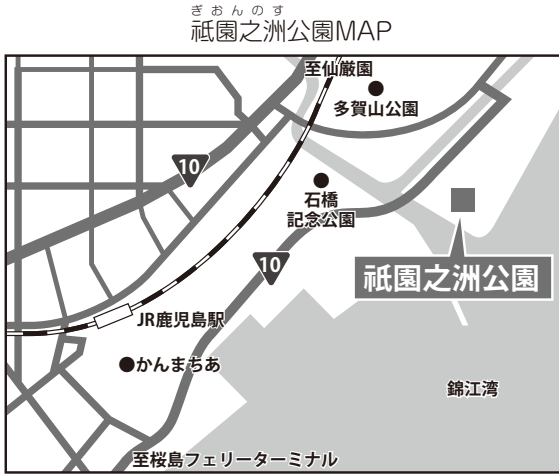
歌を通して「地域の誇り」と「文化」を次の世代を担う子どもたちへ伝え継ぐプロジェクトです。

本取組みを通して、子どもたちが「地域の海」を身近に感じ、海との関わりを考える機会を作っていきたいと考えております。

うみ歌プロジェクトホームページ  
<https://umiuta.jp/>



おわり



2025年2月 初版発行<検印省略>

主 催 一般社団法人 GO UP KAGOSHIMA  
 共 催 日本財団 海と日本プロジェクト  
 協 力 鹿児島市教育委員会  
 鹿児島市立清水小学校 鹿児島市立八幡小学校  
 編 集 NPO法人マンガプロジェクト鹿児島  
 漫画作画 jorijokopyy  
 印刷・製本 濱島印刷株式会社